

2007. 11

Vol.30

ひ お ま

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

主な記事

特集：日置市の地域情報化について2
 シリーズ⑤：男女共同参画社会をめざして6
 地域運動会8
 埼玉県・奈良県から修学旅行生を受け入れ10
 まちの話題11
 市民の広場22



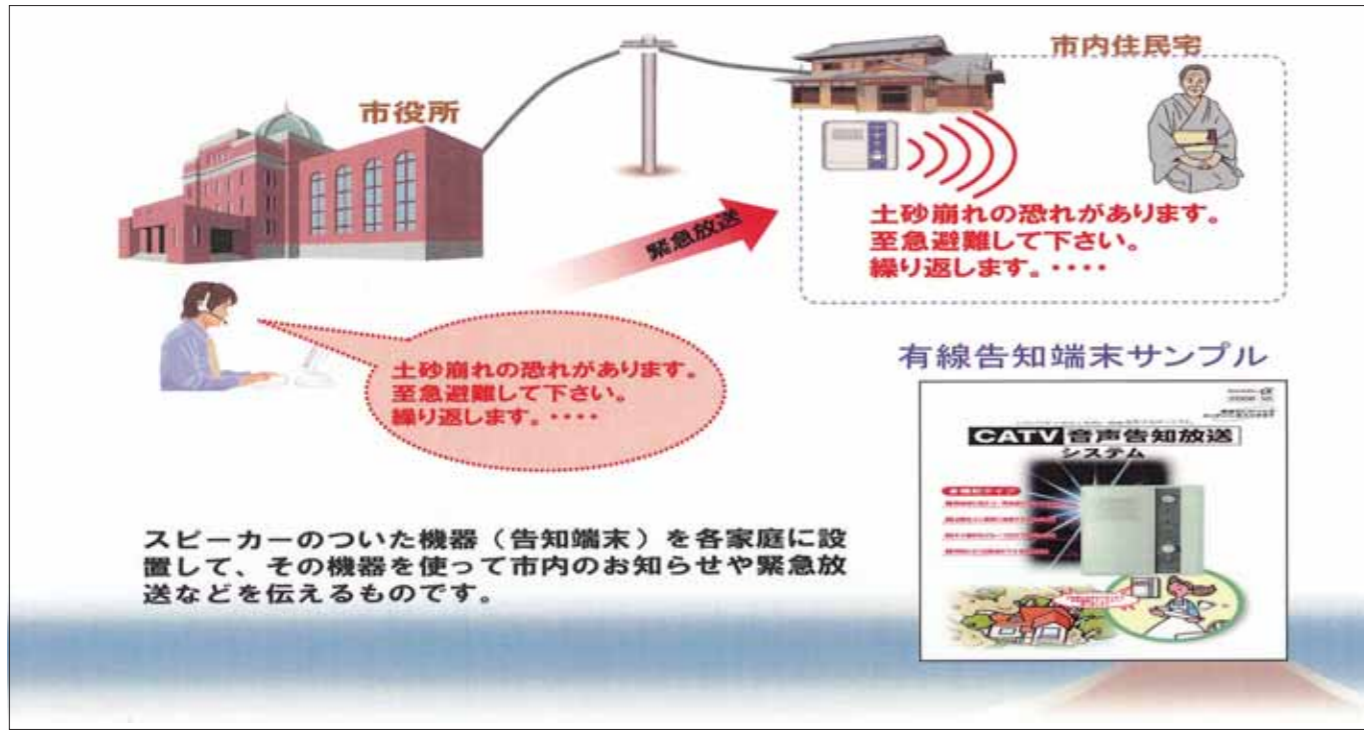


図3 防災行政無線を有線化した場合のイメージ図

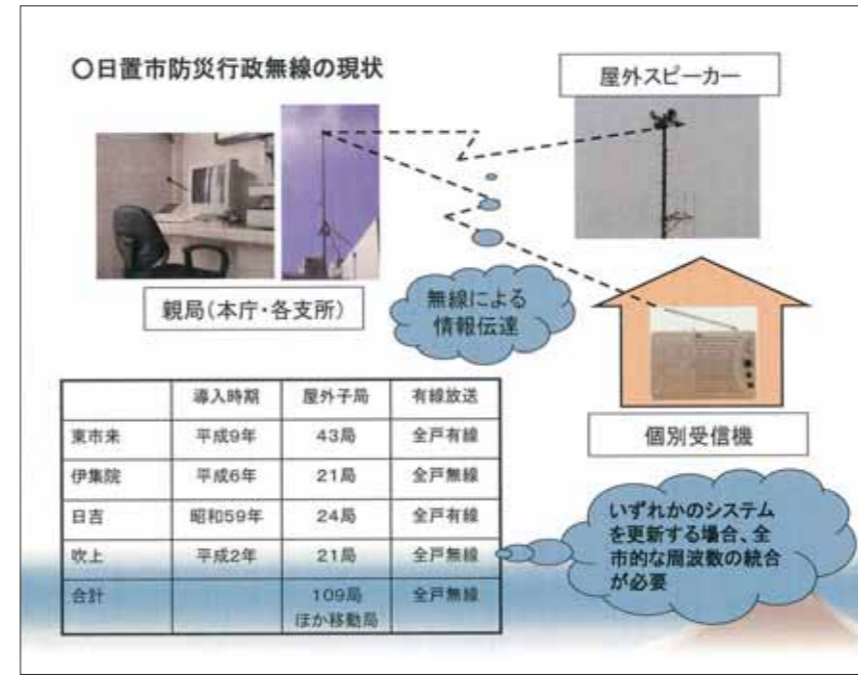


図1 日置市防災行政無線の現状

市では、十月十日から十一月一日にかけて、市内二十三日所で市民説明会を開催しました。今回は、その概要について紹介します。

市防災行政無線の統合と ケーブルテレビ事業の概要について 市民説明会を開催

市の防災行政無線の統合について

市の防災行政無線については、市民の皆さんの安心・安全を確保するため、現在、本庁・支所の四カ所の親局を中心に、四つの周波数を使ってそれぞれ無線により、各ご家庭の個別受信機と屋外のスピーカーから情報をお伝えしております。（一部の地域では、無線で受信した情報を自治会所有のアンテナを経由して有線でも情報を提供しております）【図一】

このような形で防災行政無線を運用しておりますが、施設の老朽化も進んできており、近い将来、システムの更新を行う必要が生じています。また更新を行う場合、基本的に周波数の利用が一自治体、一周波数という制約もあり、ひとつの地域だけ更新するのではなく、市全体のシステム更新を行う必要があります。

この問題を解決するため、昨年、市が整備しました公共施設を結ぶネットワークを利用して整備できないか検討してまいりました。【図二】

その結果、これまでの無線による情報提供から市内全世帯をケーブルで結び、それぞれのご家庭に告知端末（音声告知のための機器）を配置し、情報をお伝えする方法に変更する方向に進めることになりました。関係の機器等については、全て市が整備しますので、市民の皆さんのご負担は生じません。

このシステムを導入することで、市内全域を対象にした一斉放送や各地域単位、地区館単位、自治会単位など、あらかじめ放送するグループを設定することで、それぞれに分けて情報をお伝えすることができるようになります。細かい運用については、今後いろいろと協議を行い決定します。

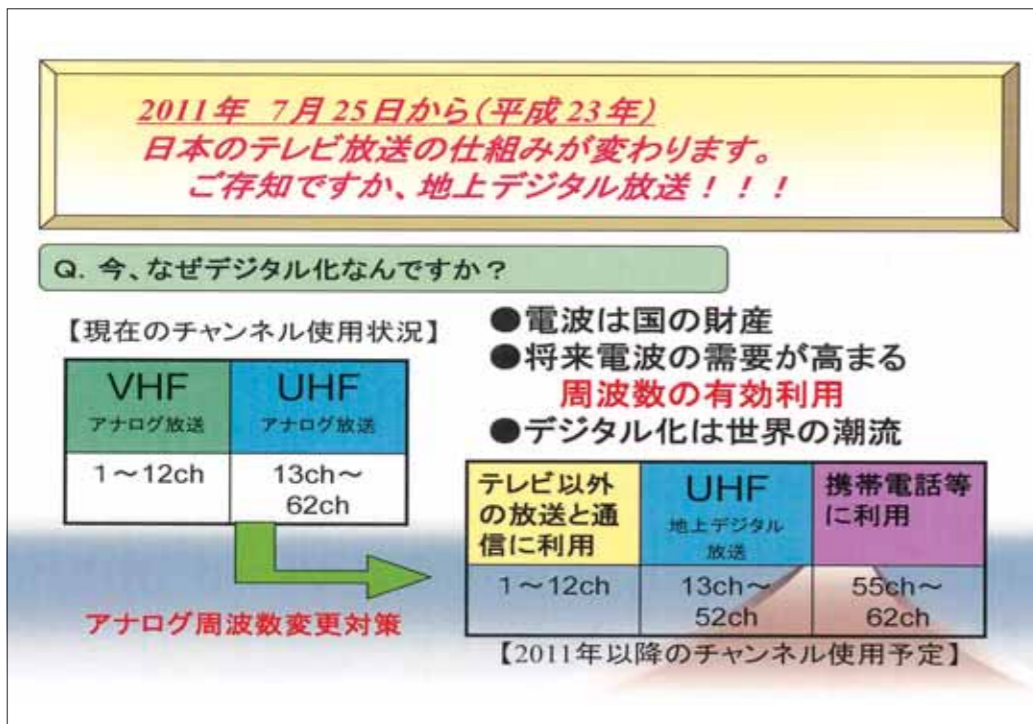


図4 デジタル化される理由

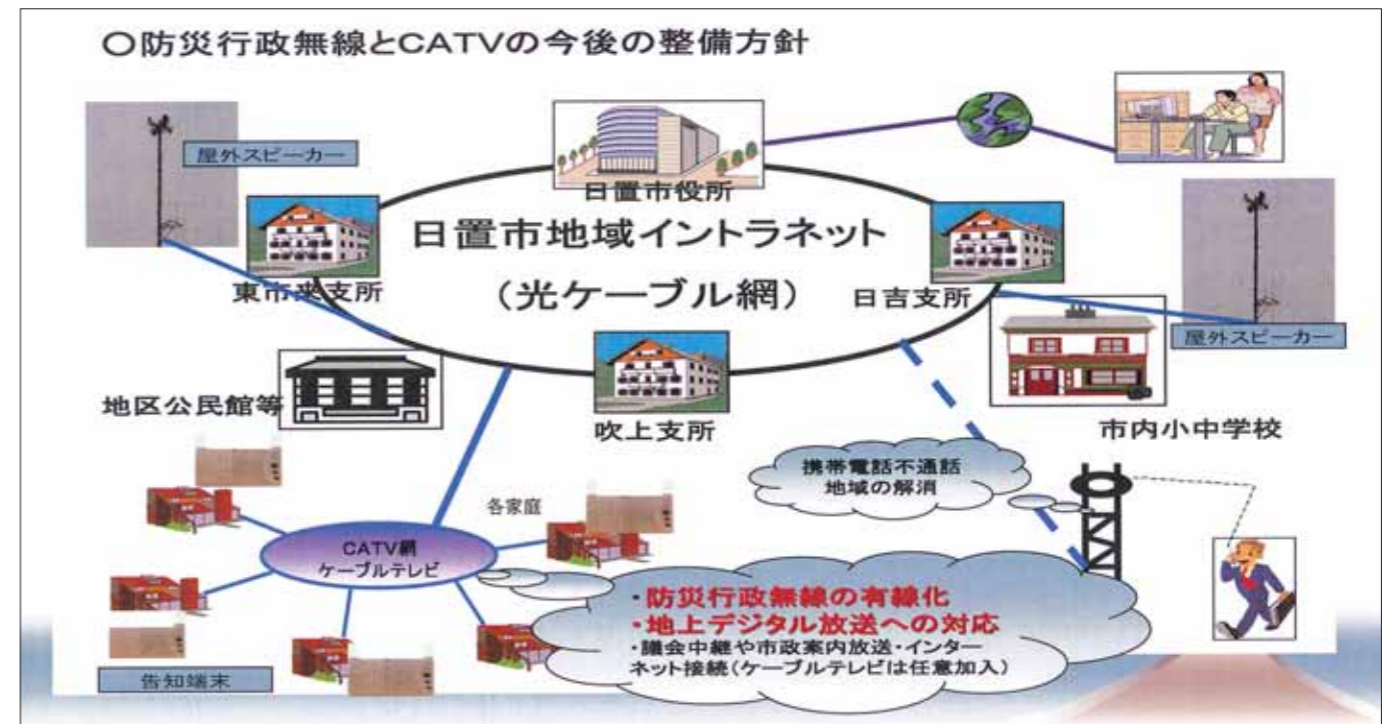


図2 防災行政無線とケーブルテレビの今後の整備方針

停電や断線時の対応が問題になります。また、断線については、市内のネットワーク(ケーブル)をループ(円を描く形)で構築してありますので、右回り、左回りどちらでも放送できることから、実際の運用を工夫

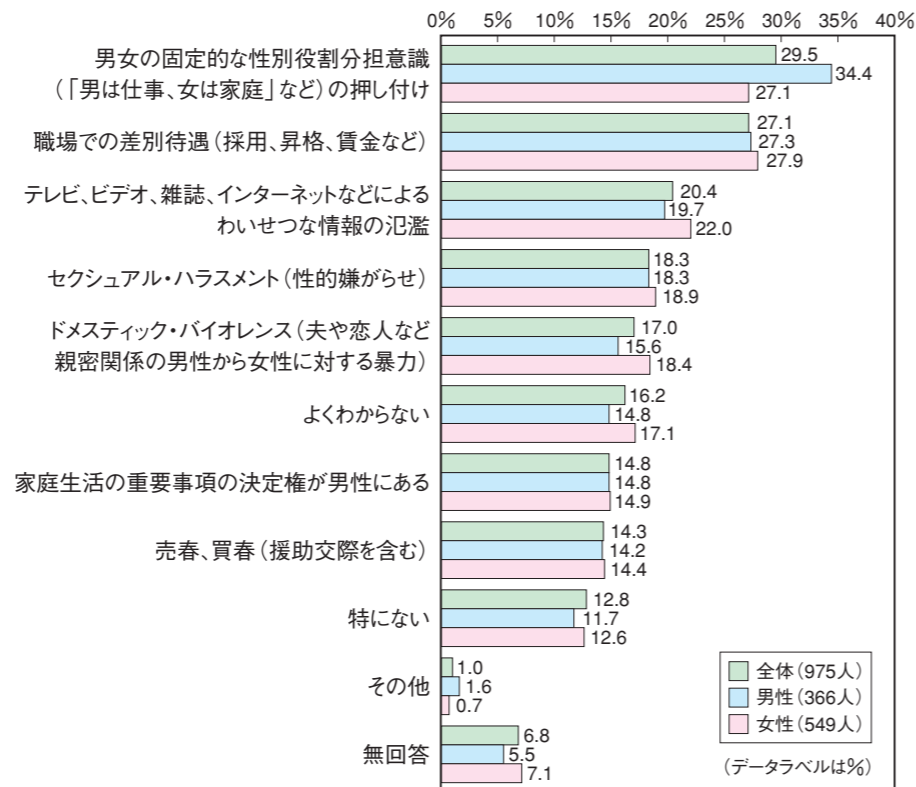
してまいります。ただ、大規模な災害が発生した場合、無線であっても有線であっても限界がありますので、いかに早く正確な情報をお伝えし、それに基づいた的確な初動体制をとることが求められます。

女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか

《性別件数：無回答 60 件除く》
《全体割合昇順》

◆全体では「男女の固定的な性別役割分担意識の押し付け」が29.5%と最も高く、次いで「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」(27.1%)、「テレビ、ビデオ、雑誌、インターネットなどによるわいせつな情報の氾濫(20.4%)」の順となっています。

◆男女別で見ると、男性では「男女の固定的な性別役割分担意識の押し付け」が34.4%と最も高いのに対し、女性では「職場での差別待遇（採用、昇格、賃金など）」が27.9%と最も高くなっています。

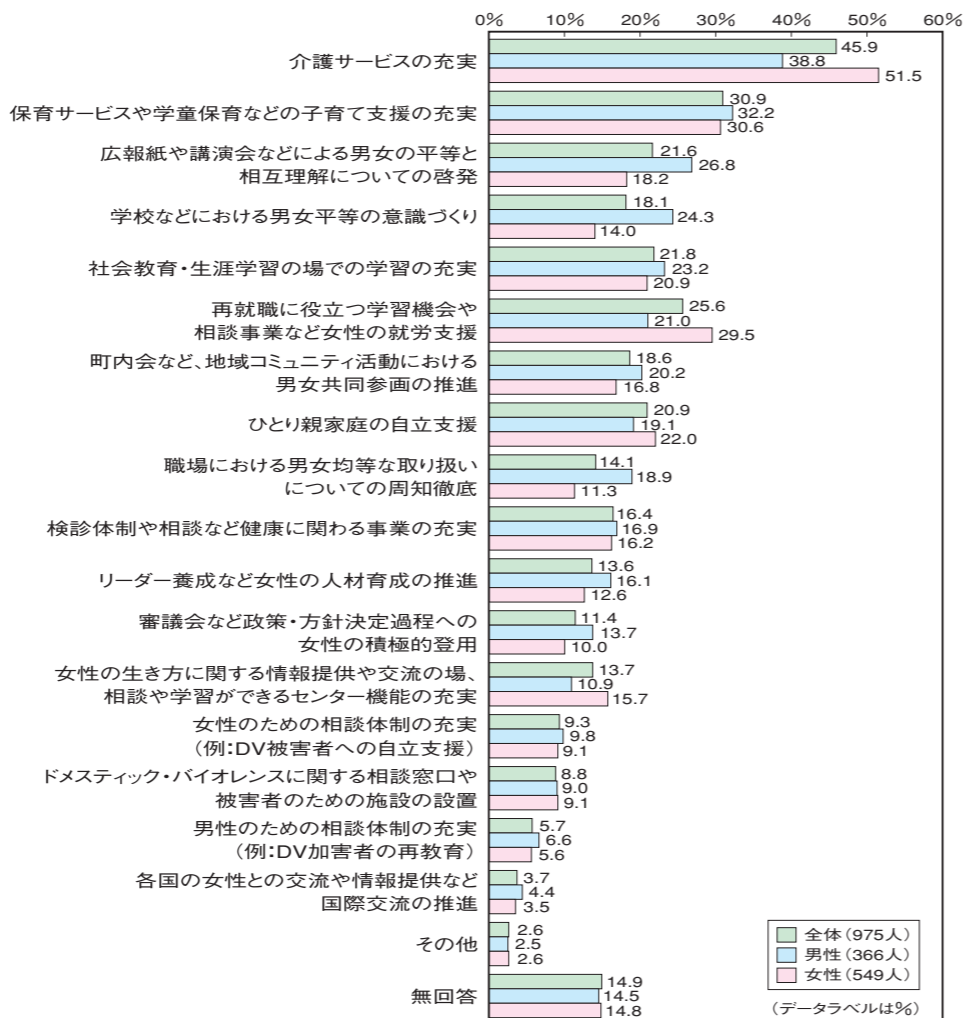


男女共同参画社会を実現していくために、日置市の施策に望むものは何ですか

《性別件数：無回答 60 件除く》
《全体割合昇順》

◆全体では、「介護サービスの充実」が45.9%と最も高く、次いで「保育サービスや学童保育などの子育て支援の充実」(30.9%)、「再就職に役立つ学習機会や相談事業など女性の就労支援」(25.6%)の順となっています。

◆男女別で見ると、女性は全体と同じ順位となっていますが、男性は3番目に「広報紙や講演会などによる男女の平等と相互理解についての啓発」が入っています。



シリーズ⑤

男女共同参画社会をめざして

今月は、子育て・教育、人権における男女共同参画、県や市に要望する施策についてのアンケート結果を掲載します。

アンケートは、「男女平等の意識を育てるために、学校教育の場でどのようなことに力をいれるべきだと思いますか」、「女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか」、「男女共同参画社会を実現していくために、日置市の施策に望むものは何ですか」といった内容です。

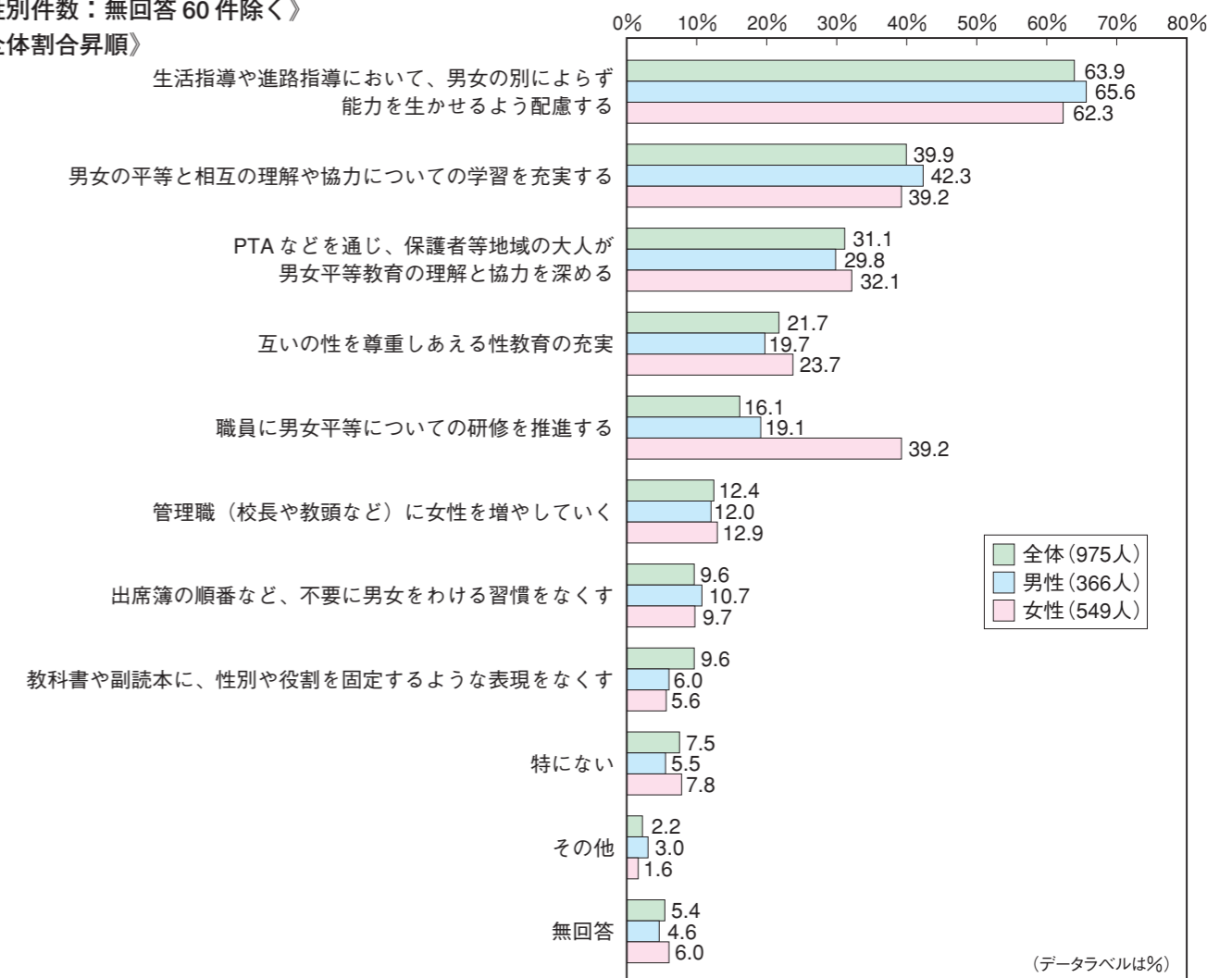
市民の皆さん、今月号で最後のシリーズとなります。男女共同参画社会について理解することができましたか？

※調査結果については、ホームページにも掲載してあります。

ホームページアドレス <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/modules/content001/index.php?id=68>

男女平等の意識を育てるために、学校教育の場でどのようなことに力をいれるべきだと思いますか

《性別件数：無回答 60 件除く》
《全体割合昇順》



◆全体、男女とも「生活指導や進路指導において、男女の別によらず能力を生かせるよう配慮する」が最も高くなっています。

◆男女別で見ると、「職員に男女平等についての研修を推進する」が女性 (39.2%) の割合が男性 (19.1%) の2倍以上高くなっています。

地域運動会

十月七日、市内四地域の各施設で地域運動会が開催されました。各地域では白熱した競技が繰り広げられ、また、ユニークな競技や応援で会場は盛り上がりしました。

なお、スポーツ優秀選手や体育振興に功績のあった個人、団体に各体育協会から功労者表彰が行われました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

スポーツ優秀選手

(氏名) (競技種目等)

伊集院地域

内 健治郎 柔道
内田 諒介 空手道
茶園美紗子 陸上
外屋敷智崇 剣道
有村 優樹 陸上
内 和也 陸上
西原口 嶺 バドミントン

日吉地域

満富 大助 剣道
辻 絢美 剣道

日置地区体育協会功労者

(氏名) (競技種目等)

重信 一典 川西体協相撲部
バレーボール同好会あすなろ
吉利体協

社会体育功労者

(氏名) (競技種目等)

東市来地域 福山 和浩 伊作田校区体協
久保 勇 剣道
脇田 敏秋 皆田地区体協
平田 肇 ゲートボール

伊集院地域

橋口 正則 グラウンドゴルフ
田中 利徳 グラウンドゴルフ
田代 義則 ゲートボール
奥 和人 ソフトボール
田ノ上久美子 ソフトボール
徳永 隆之 ソフトボール
有馬 純一 軟式野球
(故)窪田 正人 伊集院校区体協

日吉地域

満尾 修一 川西体協
勝田 益男 川東体協
横山 薫 住吉体協
小園 耕作 吉利体協
下原 新一 日新体協

社会体育優良団体

(氏名) (競技種目等)

東市来地域 パンサー ソフトボール

伊集院地域

伊集院北中学校卓球部 卓球
伊集院V61少年団 バレーボール



東市来地域



圧倒的な強さで 鶴丸校区が2連覇!

第三回東市来地域運動会が、東市来総合運動公園で開催されました。当日は天候が心配されましたが、五校区・二地区からたくさんの方が参加し、玉入れや輪入れ、職域対抗リレーなどの競技でさわやかな汗を流しました。校区・地区対抗では、グラウ

自治会対抗 (6位入賞まで)			校区・地区対抗		
順位	自治会	得点	順位	校区	得点
優勝	荻	75.5	優勝	鶴丸	36.0
2	元養母	66.5	2	上市来	25.0
3	城之町	66.5	3	伊作田	24.0
4	田代	65.0	4	湯田	23.0
5	杉之迫	61.5	5	皆田地区	16.0
6	赤崎	59.5	6	美山	14.0
			7	高山地区	2.0

※敢闘賞は、皆田校区

妙円寺東が振り返り咲き!

土橋の3連覇を阻止

第三十九回伊集院地域運動会が伊集院総合運動公園で開催されました。開会式では、徳永将さん(伊集院中一年)が炬火台に点火。上・下方限チームの内田諒介さんが力強く宣誓し、競技スタート。今年も校区・地区から十六チームが参加し、子どもから大人までたくさんの方が短距離走やリレーなどの種目で盛り上がりしました。また今年も、新種目「玉入れ競争」も行われ、各校区・地区のテントから大きな声援が送られました。

伊集院地域

団体の部			総合の部		
順位	地域	得点	順位	地域	得点
優勝	妙円寺東	102	優勝	妙円寺東	189
2	飯牟礼校区	100	2	飯牟礼校区	159
3	土橋校区	94	3	郡	155
			4	土橋校区	148
			5	妙円寺西	138
			6	野田・桑畑・下神殿	121
			7	麦生田・上神殿・つつじヶ丘	108
			8	清藤・猪鹿倉	99
			9	徳重東西・出穂・城山・荒瀬	97
			10	大田・寺脇	91
			11	麓東西	87
			12	上・下方限	85
			13	朝日ヶ丘	73
			14	町中央	72

リレーの部			躍進の部		
順位	地域	得点	順位	地域	得点
優勝	妙円寺東	29	優勝	妙円寺東	35
2	郡	27	2	野田・桑畑・下神殿	20
3	妙円寺西	25	3	飯牟礼校区	16



▲新種目「玉入れ競争」



▲1,200mリレーのスタート



▲デッドヒートを繰り広げる「安全運転」

吉利体協5連覇!

自治会は南区が優勝

日吉地域運動会が、秋晴れのもと日吉総合運動公園で開催されました。毎年、ユニークな応援で注目を集める地区の応援団。今年も趣向を凝らした応援に会場の笑いを集めました。競技の「激走!三輪車」では、大人の身体では小さい三輪車を懸命にこいでいました。また、綱引き種目では、どの地区も子どもから大人まで綱引きや応援に熱が入り、盛り上がりっていました。総合優勝は、吉利が五年連続で勝ち取り、自治会民館では南区が優勝しました。



▲引く手にも応援にも力が入る「綱引き」



▲小さい三輪車で激走

日吉地域



▲毎年恒例になった応援団

地域体育協会対抗			
順位	体協	得点	
優勝	吉利	151	
2	住吉	135	
3	扇尾	114	
4	川西	109	
5	川西	93	
6	日新	92	

自治公民館対抗

順位	地域	得点
優勝	南区	36
2	日新	30
3	見笠	28
4	中山	26
6	熊野	20
6	西郷	20
8	八幡	18
10	草原	17
10	北尾	17
12	扇門	15
13	毘沙門	13
14	帆之港	12
15	日置	10
15	二麓	15
17	柿谷	3

花田地区がV奪還!

隔年で開催されている吹上地域市民運動会が、吹上浜公園陸上競技場で行われました。吹上地域では、十地区が、七種目の採点競技で競いました。その結果、四種目を制した花田地区が優勝、優勝旗を奪還しました。二位は伊作南、三位は永吉。また、社会体育表彰者は次のとおり(敬称略)。



▲負けられない(世の中まならぬ)



▲笑顔いっぱい園児のおゆうぎ

吹上地域



▲気持ちを合わせて(ムカデ競争)

地区体永年出場

益満 太 弓道
揚野 ミチ子 グラウンドゴルフ
堂下 はづき テニス

全国大会出場(十九年度)

今村 圭介 銃剣道
鍛冶屋 光俊 銃剣道

全国大会出場(十八年度)

倉園 翼 レスリング
永吉 脩人 陸上
和田 修一 剣道
岩元 真希 ソフトテニス
大平 茜 ソフトテニス

修学旅行で日置市に民泊

埼玉県・奈良県から修学旅行生を受け入れ

10/14、10/16 埼玉県立和光国際高等学校

昨年引き続き、県外から修学旅行生が日置市を訪れました。十月十四日から十六日の三日間訪れたのは、埼玉県立和光国際高等学校の二年生三クラス百十七人、十月二十四日から二十五日の二日間訪れたのは、奈良県立平城高等学校の二年生三クラス百二十人で、市内の五十九世帯の民家で受け入れられました。生徒たちは、それぞれの地域に分散、市役所・支所などで受け入れ農家と対面し、早速それぞれの農家での体験が始まりました。

東市来の赤崎道博さんと南有機さん宅に宿泊した男子生徒五人は江口海岸で地引網を初体験。エイやサゴシなどが取れ、お昼に美味しくいただいたそうです。吹上の地頭所勝也さんのみかん園には多くの生徒が訪れ、みか



▲地引網体験(東市来)



▲みかんの収穫体験(吹上)

んの収穫作業を楽しく体験していました。日吉の笠野邦彦さんの田んぼでは、三班九人の生徒が、今は少なくなった掛け干しの稲の収穫に汗を流しました。晩ご飯は取れたての新米をおにぎりでいただきました。二



▲受け入れ世帯との交流会(伊集院)



▲米の脱穀体験(日吉)

伊集院の梅康博さんのイチゴ畑では、男子生徒三人がイチゴの手入れやハウスのビニール張りがんばっていました。また、定期的に早かったですが、生徒は小粒ながら赤く色づいたイチゴを食べ、その甘さに驚いていました。日吉の山里一幸さんのサツマイモ畑では、二班五人がいも掘り体験し、心地よい汗を流しました。吹上の西園一幸さんの畑では、女子生徒がトラクタに乗り込み、畑の耕うん作業を体験しました。

10/24、10/25 奈良県立平城高等学校



▲イチゴの定植作業(東市来)



▲作業の合間の休憩(伊集院)



▲芋掘り体験(日吉)



▲トラクターの操作体験(吹上)

市では、農業や地域の素材(資源・自然)を結びつけた地域活性化を進めていくこととして、これからも修学旅行の受け入れや農家民泊体験など各種事業を実施する予定です。このような活動に興味があり、受け入れを希望される農家・非農家の方は、本庁農林水産課(内線二一五二)までご連絡ください。

「和牛のオリンピック」に出場

第九回全国和牛能力共進会

十月十一日から十四日、五年に一度開催される第九回全国和牛能力共進会が鳥取県米子市で開催され、久保フジ子さん(伊集院町野田)が、和牛激戦区の鹿児島県代表として二頭の牛を出品しました。

若雌第三区「わかば号」が三十二頭中優等賞二席に入賞しました。久保さんは、前回の第八回大会にも出場し入賞。今回の入賞は日ごろの熱心な飼養管理が実を結んだ結果と言えます。また、今回の好成绩で本市和牛農家の生産意欲になお一層の弾みがつくことが期待されます。



▲花束を受け取る久保吾郎さん(左から二番目)とフジ子さん(左)



▲審査会場風景(鳥取県米子市)

環境にやさしい農業をめざして!

エコファーマー認定式

九月七日、市役所東市来支所でエコファーマー認定式が行われ、東市来いちご部会二十人が認定を受けました。これは土づくりや化学肥料、化学合成農薬の低減のために導入すべき技術が定められていて、導入した農業者が策定した「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を県知事が認定する制度。認定された農業者のことをエコファーマーと呼んでいます。坂口部会長は「各関係機関の協力で会員全員が認定を受けることができました。土づくりや農薬使用の削減など、今後とも部会内で話し合い、安全で安心なイチゴ栽培に取り組みたい」と話していました。



これが、ジャンボかぼちゃです

日吉農業きばる会

九月二十六日、日吉農業きばる会(妙見良一代表・会員二十八人)が主催するジャンボかぼちゃの重量を競うコンテストがAコープ日吉店前庭で行われま



した。同会は、日吉支所農林水産課から今年四月にジャンボかぼちゃの苗をもらい、会員がそれぞれ栽培。約五カ月の間に大きく育ちました。今年猛暑の影響で、例年より不作でしたが、会場には見事なジャンボかぼちゃがずらり。コンテストで一番に輝いたかぼちゃは五十七キ。次いで五十一キ、四十一キとなりました。



十月二十七、二十八日の二日間、東市来総合運動公園と湯之元球場を会場に第二十六回鹿児島県高等学校新人ソフトボール大会、第五十八回鹿児島県中学校女子新人ソフトボール大会が、

2日間にわたり熱戦を展開

ソフトボール

ねんりんピック鹿児島2008ソフトボール交流リハーサル大会の共催大会として開催されました。二十七日は、湯之元球場で開会式が行われ、ねんりんピック鹿児島2008の大会マスコット「さくらじまん」も応援に駆けつけ、伊集院高校音楽部の演奏に乗せて、高校男子六チーム、高校女子十二チーム、中学生女子十七チームによる入場行進も行われました。二十八日は、県内のシニアチームと高校女子チームの交流試合が行われ、白熱した好ゲームが展開されました。



第21回全国健康福祉祭かごしま大会
ねんりんピック鹿児島2008
平成20年10月25日(土)～28日(火)
かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火

来年本番! 全国各地から高齢者が集う

ねんりんピック鹿児島2008交流リハーサル大会

「かごしまで 元気・ふれ合い・ゆめ噴火」をテーマに平成二十年鹿児島県を会場に開催される第二十一回全国健康福祉祭鹿児島大会「ねんりんピック鹿児島2008」のソフトボールとウォークラリー交流リハーサル大会が開催されました。「ねんりんピック」は、高齢者の健康づくりの高揚、社会参加の促進を目的にスポーツ競技や文化イベントなど毎年多くの選手が参加して行われる全国規模の祭典です。



秋の二日、楽しく健康づくり

ウォークラリー

妙円寺詣りと同日の十月二十八日、伊集院文化会館と周辺コースを会場に、高齢者の部、一般の部あわせて二十八チームが参加してリハーサル大会が開催されました。

ウォークラリーは、五人一チームでコマ図と呼ばれる地図を頼りに、コースの途中で簡単なゲームやクイズを解答していく競技です。ほとんどの参加者が、ウォークラリーをするのは初めてでしたが、スタート前に競技の説明を受け、さわやかな秋の一日を妙円寺詣りの雰囲気を楽しみながらウォーキングで楽しみました。

【高齢者の部】
優勝 妙寿会B(日置市)
準優勝 恋之原高齢者クラブ(日置市)
三位 共進(日置市)
【一般の部】
優勝 ランダークラブ(日置市)
準優勝 チーム野田郷(出水市)
三位 妙円寺健康体操B(日置市)
ねんりんピック鹿児島2008は、平成二十年十月二十五日(土)から二十八日(火)まで開催されます。全国から参加される選手、役員の方々に温かくお迎えし、大会が成功するよう市民皆様のご協力、ご声援をお願いします。

天文館で 妙円寺詣りを事前PR
フェスタ運営委員会
十月十三日、妙円寺詣りフェスタ運営委員会(末永義弘委員長)が鹿児島市の天文館アーケード周辺で妙円寺詣りフェスタのPRを行いました。当日、同委員会のメンバーは鎧甲冑に身を固め、アーケード内を隊列を組み行進。第三代ミスひおきも参加したPRに、街行く人たちは足を止め、見入っていました。また、アーケード中央では伊集院太鼓を演奏。PRブースでも伊集院饅頭やお茶が振舞われ、日置市を存分にPRしていました。



妙円寺詣り

此処に在り



鹿児島島の三大行事の一つ「妙円寺詣り」。関ヶ原合戦で西軍崩壊のなか、敵陣を中央突破し薩摩に帰還した島津義弘率いる島津勢の勇気と苦難をしのび、義弘公の菩提寺である妙円寺(現徳重神社)に参詣する「妙円寺詣り」の行事が十月二十七日から二日間にわたり開催されました。(空手道は二十一日に行われました)

四百年の時を越える 市の一大イベント

妙円寺詣りは、その起源は定かではありませんが、西郷隆盛や大久保利通も参詣したと記録され、太平洋戦後一時中断を経て昭和二十六年より復活し、現在に受け継がれています。



旧暦の九月十四日に開催していた妙円寺詣りは、平成五年から十月の第四日曜日に開催されるようになりました。現在は、妙円寺詣りの行事大会が十月第四日曜日。平成十二年の関ヶ原合戦四百年記念行事から続く妙円寺詣りフェスタが第四土日の二日間開催されています。好天に恵まれた両日。盛大に開催されたこの行事に、徳重神社には延べ十万人を超える人が

十万人を超える人出



▲大田太鼓踊りも奉納



▲終日、声援で盛り上がった体育行事

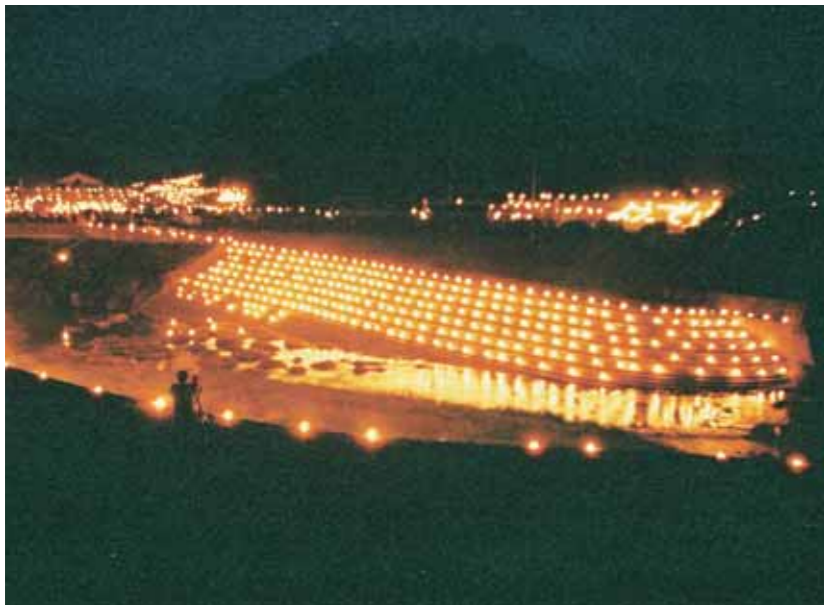


▲足の疲れを癒す参加者(フェスタ会場足湯)



▲ウォークラリー参加者が次々と到着

訪れました。二十七日、プラッセだいわ横のフェスタ会場では、二日間にわたり郷土芸能や太鼓、器楽演奏などが披露され、会場は市内外から訪れた大勢の観客で盛り上がりました。また、徳重神社には各地から徒歩で参拝する人や鎧甲冑に身を固めた武者行列隊が次々と到着。二十八日には境内で剣道や相撲などの行事大会が行われ、普段静かなたすまいをみせる神社周辺は終日にぎわいました。



より充実の 地域振興イベント

やまかん きょうえん
第5回山神の響炎

異種団体協働による地域振興イベント、山神の響炎が十月七日、永吉の山神の郷公園（吹上）一帯で開催されました。松明の灯と音の響きで、祖先の遺徳をしのび、地域を興そうという「山神の響炎」も五回の節目を迎え、実行委員会を組織する永吉地区公民館、山神の郷管理組合、吹上青松太鼓保存振興会の連携・設置や、会場周辺に松明を管理・設置や、会場周辺に大勢が参加するなど、

多くの関係者の協力、順調に準備が進み、夜のとばりが下りた午後六時、



豪快華麗な光が花を添えました。フィナーレは青松太鼓の「二期一会」で出演者全員が共演。観客も立ち上がり、灯火の中、最高潮を迎えました。協働、交流、一体感。山神の響炎はより充実のイベントへと進化します。

吹上秋祭り2007が十月二十一日、吹上浜公園で開催されました。吹上秋祭りはこれまで、さつま湖花火大会の昼間イベントとして開かれていました。事情により休止となった花火大会の分まで盛り上げようと、吹上町観光協会や関係者が実行委員会を組織し、準備、運営にあたりました。実行委員会では「歴史が華麗によみがえる」をテーマに設定。吹上の伝統行事が一堂に会するイベントにと、保存会などに協力を呼びかけました。その結果、県指定文化財の「伊作太鼓踊り」「伊作流鏑馬」「妙音十二楽」と豊年祈願祭「たじまどん」が出

演を快諾。日ごろ触れる機会が少ない郷土の伝統に大勢の観客が詰め掛けました。トリとして登場した流鏑馬と太鼓踊りは陸上競技場に移して披露。芝生を駆け抜ける人馬と、矢旗をくねらせ舞う男衆に最後まで大きな拍手が送られました。当日は、メインステージでの歌や踊りのほか、特産市が軒を連ね、また、温泉旅館組合が初めて足湯を開設。泉質の良さをアピールしました。



歴史が華麗によみがえる

吹上秋祭り2007



子どもたちが約20キロを完歩

妙円寺詣り大行進

十月二十日、鹿児島中央駅から徳重神社までの約20キロを歩く妙円寺詣り大行進が行われ、市内各子ども会や育成会から約五百四十人が参加しました。これは、妙円寺詣りの精神を受け継ぎ、強い心を育成するために、市教育委員会と地域子ども会育成連絡協議会が連携し、毎年開催している行事で、今年で三十一回を数えます。参加者は第一団から第三団に分かれ、各子ども会や育成会ごとにとまって歩きますが、中には速度が速い子や遅い子も。それでもマイペースで元気に徳重神社を目指しました。



中島常楽院（吹上町田尻）で十月十二日、鹿児島県無形文化財の「妙音十二楽」が奉納されました。同院は、鎌倉時代に島津家の祈とう僧宝山檢校（ほうざんけんぎょう）が開いたとされ、妙音十二楽は毎年、その命日に演奏されます。釈文を読み上げる導師を取り囲むように十人の盲僧らが本堂に並び、ホラ貝や笛、太鼓、木魚、琵琶など八種類の楽器で演奏。仏法を広めるために始まったとされる往時の荘厳な調べが静かに響きました。吹上中央幼稚園の園児や花田小の児童をはじめ、市内外から訪れた百五十人の見学者が、時代を超えた音に聞き入りました。演奏後、宝山檢校の墓前供養も行われました。妙音十二楽で使われる琵琶が、薩摩琵琶の原型になったといわれています。



日吉の秋祭りを満喫!

日吉秋祭り花火大会

十月六日、第三十一回日吉秋まつり花火大会が日吉中学校グラウンドで開催されました。ちびっこゲームでは、ラムネの早飲み競争、ステージでは、ちびっこダンス、日吉出身の宮脇駿さんによるギター弾き語りなどの歌謡ショーを楽しみました。盛り上がったお楽しみ抽選会の後、祭りを締めくくる三千発の打ち上げ花火は、来場者の拍手と歓声で湧き上がりました。





▶制作中の真剣な表情

匠に挑戦

一日陶芸体験教室

十月十二日、上市来中（東市来）の全校生徒三十九人が陶芸体験を行いました。

これは総合的学習のふるさと学習の一環で、郷土への興味や関心を深めさせ、自己の表現力を向上させようというものです。

午前中は手作り工房ふみの久保文男さんから作業行程の説明を受け、陶芸に関する知識を深めました。午後は美山陶遊館に移動し、実際にカップや花瓶、

表札など思い思いの作品を制作。一年生の久保貴裕くんは「陶芸は三回目。これまでは面白さに重点をおいたが、今回は生活用品を目標に作った」とこれまでとは一味違ったものを制作しました。

焼きあがった作品は十一月七日に開催された学校の文化祭で展示され、訪れた人々を楽しませていました。



地域の伝統行事 「坪刈り」を体験

扇尾小学校

明治三十一年から始まり今年で百九回目となる伝統行事「坪刈り」が十月四日、扇尾地区の樗木（おてき）集落（日吉）で行われ、扇尾小学校の全児童が体験学習をしました。

また、今年の当番になって上田平浩二さん宅で脱穀をしていきました。

秋の夜長に松林で音楽会

吹上カエルの音楽会



国民宿舎吹上砂丘荘が主催した「吹上カエルの音楽会」が十月二十一日、同荘下の松林で行われました。この音楽会は、自然のステージで生の演奏を楽しんでもらおうと企画されているもので、今回で五回を数えます。

出演はマリンバ奏者四人のグループ「フォーメレッツ」。クラシックから童謡まで幅広いジャンルをカバーしています。

松林をろうそくの灯火が優しく照らし出す会場に、マリンバ四重奏の優しい音色が心地よく流れ、百二十人の観客を魅了しました。

子どもの夢を創って10周年

星空おはなし会



子どもへの読み聞かせ活動を展開しているボランティアグループ「ぼけっとファンタジー」の「星空おはなし会」が十月二十七日、ふきあげ図書館でありました。

ぼけっとファンタジーは公民館講座の親子読書会がきっかけとなり平成九年、三家族で結成。以来、定期的に読み聞かせイベントを開催してきました。

今年と同グループの十周年。それを記念したおはなし会は、ふきあげ図書館の協力もあり、初めて屋内で開かれました。準備されたフロアは百五十人

の親子連れで満員。ざわめいた空気はやがて朗読の声とともに静まっていきました。

ブラックスシアターや人形劇など、多彩な仕掛けの読み聞かせに、会場はファンタジーの世界へ。最後は結成当初初めて演じた影絵「すっかりだめじゃ」を上演。吹上の民話を鹿児島弁で演じ、館内に笑いが響き渡りました。

メンバーは「わが子にお話しができなくなった分、たくさん子どもに夢を創る話の世界を提供したい」とさらなる十年を見据えていました。

子どもたちの安全を守る

二百三十人のスクールガードが地道な活動



全国的に登下校中の子どもが被害にあふ事件が続発しています。本市では、約四千五百人の児童生徒の登下校を約二百三十人のスクールガードが見守っています。

スクールガードは、昨年度（平成十八年度）から県教育委員会が、スクールガード・リーダー（スクールガードを指導する立場の方）を全小学校に配置したことを機に、各小学校で組織をつくり、学校の呼びかけに応じた地域の方々や保護者等に委嘱し、市内十九校全校で学校や校区の実態に応じた活動を行っています。

四月には日置地区（県教育委員会主催）、十月十三日には日置市（日置市教育委員会主催）のスクールガードの研修会を実施しました。

この中で、スクールガード・リーダーの代表大久保利義さんから「黄色のスクールガードの帽子を持っている人は、目立つのでかぶって行動すること（抑止力になる）、八三運動の実施（午前八時、午後三時の時間帯に家の外に出て散歩、買い物、庭の

地域で育つ子ども会

日置地区子ども会大会

や創作活動などで、今後の示唆を得ました。

開会行事では、永吉地区子ども会など、特色ある活動を長年続けている六団体、一人人が表彰されました。また、宮内地区子ども会が、鎌手踊りの継承活動を発表し、参加による地域連帯の大切さを報告しました。

分科会は子どもと育成者ごとに開催されました。子どもは吹上浜の貝殻を使った創作活動。指導者のアドバイスを受けながら、色とりどりの貝に目を輝かせて、思い思いの貝殻細工を作りました。

育成者は、花田地区の事例発表や講話から、子ども会が地域とともに育つことの大切さを学びました。



▲手ほどきを受けながら貝殻細工

交通安全教室

安全指導係

十月五日、扇尾小学校（日吉）で交通安全教室が行われました。横断歩道の走行、自転車の点検、自転車の正しい乗り方など、日置警察署の方に指導していただき交通安全を認識しました。





▲記念植樹をする島津会と南郷会役員

交流の木を植樹

永吉南郷会と上石津島津会

島津豊久公をはじめ永吉島津家代々の菩提寺、天昌寺跡に十月七日、島津家ゆかりのマツとモミジの木が植えられました。マツは、宝曆治水の完工を記念して、幕府が薩摩から取り寄せ堤防に植えた千本松原から育ったもの。モミジは、関ヶ原合戦の敵中突破で自刃した豊久公の縁で交流している岐阜県上石津を治め

ていた水奉行高木家の象徴する木です。植樹には、上石津島津会から三輪雅務会長と大嶽文夫さんが来訪、永吉南郷会会員が見守る中、南郷会役員と丁寧に着付けました。三輪会長は「長い歳月を経てマツは里帰り、モミジはおこし入れです。交流の木として植えさせていただきました」とあいさつ。南郷会では「木の成長とともに、交流の年輪を重ねたい」と話していました。



▲国道3号線(東市来町長里)で行われた街頭キャンペーン



交通安全出発式▶

交通事故のないまちに

秋の全国交通安全運動

「秋の全国交通安全運動」初の九月二十一日、市役所前で交通安全運動出発式が行われました。出発式では、宮路市長と定日置警察署長が「ルールを守り、思いやりと緊張感を持った運転に心掛けてください」とあいさつ。その後、パトカーと交通安全車が交通安全を呼びかける市内パレードへと出発しました。また、当日は国道3号線(東市来町長里)で街頭キャンペーンが行われました。



▲ウッドタウン(日吉)で行われたキャンペーン

期間中、ウッドタウン(日吉)でもキャンペーンが行われ、日吉町交通安全協会のメンバーがドライバードライバーにチラシやせつべとねぎを配布。交通安全を訴えました。

(財)日本緑化センター会長賞受賞

パナソニック半導体オプトデバイス(株)



十月一日、東京都石垣記念ホールで行われた第二十六回工場緑化推進全国大会で、パナソニック半導体オプトデバイス(株)が(財)日本緑化センター会長賞を受賞し、十月五日、市役所を訪問されました。同社は、平成九年にISO14001を取得以来、社員一丸となって環境保護活動に取り組む、工場および周辺立地に配慮しながら、整然とした工場緑化に努めています。

研修成果でさらなる飛躍を

マレーシア青年研修生送別会

日置市と吹上町マレーシア交流実行委員会などが共催して受け入れているマレーシア青年研修生が、一年間の技術研修を終え、その送別交流会が十月二十日、永吉地区公民館でありました。研修を修了したのはヒシヤムさん、ファイザルさん、イザムさんの三人。いずれも藤元工業団地の鹿児島ケースで金属加工技術などを学びました。

「ことばや文化の違いに苦労しましたが、会社や地域のおかげで研修することができました」と研修生。かみしめるようにしっかりとした日本語でお礼を述べると、六十人の参加者から大きな拍手が送られました。市と実行委員会は、修了証書と記念法被を授与、異国での一年間を労いながら、帰国後の飛躍を祈りました。

女性の視点で訴えました

吹上地域の市議と語る会



「女性の視点から地域づくりを考える」をテーマに、「吹上地域の市議会議員と語る会」が十月二十六日、吹上中央公民館で開かれました。語る会は、吹上地域各種女性団体連絡協議会などが主催して初めて行われたものです。語る会には、社会教育や農林、福祉の各種女性団体から三十六人が参加。「高齢化により将来的に地域の奉仕作業などができ

なくなる」「悪書の自動販売機を撤去できないか」「市役所からの配布物が多過ぎる」など、生活者の視点や日ごろの活動を通して地域課題を訴えました。これに対し議員は「自分の地域を自分で守ることが地域自治」「地権者への働きかけも大切」「情報提供と経費節減のバランスが難しい」などと、丁寧に答えました。参加者は「小さな疑問にも真摯に対応してくれた」「この会を通じて、市政の一端を垣間見ることができて勉強になった」と充実した様子でした。

「シルバーの日」にボランティア

日置市シルバー人材センター



▲徳重神社(伊集院)周辺を清掃する会員

十月十五日、日置市シルバー人材センターの会員約百二十人が、市内各所の清掃作業を行いました。これは、十月のシルバー人材センター事業普及啓発月間中の十五日「シルバーの日」に合わせて実施されたボランティア。伊集院地域では、徳重神社、城山公園周辺の清掃作業をしていただきました。

コミュニティ助成事業で自治会体育広場周辺を整備

古城自治会、竹之山自治会



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。宝くじは、広く社会に役立てられています。宝くじの事業収入を利用した「平成十九年度コミュニティ助成事業」で古城自治会(伊集院)と竹之山自治会(伊集院)が各自治会体育広場周辺を整備しました。

整備、竹之山自治会は体育広場の老朽化した簡易トイレの新築工事を行いました。このことにより、今後の各自治会活動推進が期待されます。宝くじの助成金は、このように還元され、地域づくりに役立っています。

【古城自治会】



【竹之山自治会】



ギャラリー 私の作品展

『紙芝居』

奥 イツ子さん(67歳) 日吉町神之川

紙芝居を作り始めて10数年。今は作った紙芝居を小学校や施設、地域の婦人会やいきいきサロンで読み聞かせる活動をしています。毎日の生活の中で思ったことをノートに書いてあるうち、「この気持ちを絵と文字で誰かに伝えよう」と思ったことがきっかけ。幼い頃から絵が好きで、制作中は没頭して、夜が明けてしまうことも。「紙芝居を読むときは、聞き手の反応が気になります。紙芝居で喜んでくれる人がいて、地域の子どもたちにも昔のことなどを伝えたいと思うので、これからも続けていけたらいいですね」




ウォッチまちの文化財 30

伊作田兵部太夫道材の墓地 (東市来地域)

東市来地域の元伊作田集落の入り口に7基の石塔が並んで立っています。南北朝時代(1331~1392)の中頃に、伊作田領主であった伊作田道材と、その一族の墓と伝えられています。その頃は、朝廷が南朝と北朝に分裂したため、全国で戦いが続いていました。道材はその戦いで戦死したとされています。

鹿児島では島津家などが北朝方に、伊集院氏や市来氏などが南朝方につき各地で激しく戦いました。道材は南朝方として戦ったと伝えられています。道材の墓の近くには、その功績を讃えて大正14年に建立した「伊作田城主道材追悼碑」と、昭和15年に建立した「伊作田道材公追悼碑」があります。

7基の石塔のなかで、1基だけ文字が刻まれており、建武3(1336)年に亡くなった「比丘尼道性」の墓であったことが分かります。

伊作田地区で3年ごとに行う伊作田踊りは、道材の慰霊と豊作祈願を祈るもので、伊作田踊り保存会が中心になり多くの住民が参加しています。

〈引用参考文献〉東市来町郷土誌



中央が道材の墓とされている

Access
本庁から車で20分、
東市来支所から車で10分



キャビンアテンダント

鶴丸小学校六年 立和名 亜衣さん

四年生のときに、お父さんが単身赴任で山梨に行っていたので、家族で遊びに行くことになりました。飛行機で行くことになったのですが、「大雨で飛行機が飛ばない」と言われ、とても困りました。そんな時、キャビンアテンダントの方がみんなに説明してくださり、他社の飛行機なら飛ぶというのを教えてくださり、その姿に感動し、とてもカッコいいなと思いました。飛行機の中にも飲み物やおかし、ねている人には、

好奇心旺盛でやんちゃな2人。歌が好きで、いつも仲良く歌っています。いつまでも仲良く、元気に育ってね。

いきいき ひと シリーズ30



祭りやイベントなどでバルーンアートやジャグリングパフォーマンスをしてる池畑さん。今年起業した「船風喜(せんぷうき)」の代表で「パフォーマンス」(はさみ)として市内外で活躍しています。十月二十一日に開催された吹上秋祭り2007でもその大道芸を披露していただきました。高校の時にジャグリングに興味を持って以来、独学でジャグリングを学び、これまでに大道芸人として日本全国を回ったり、海外で大道芸を披露したりと自分のパフォーマンスを磨いてきた池畑さん。「羨」という芸名も高校時代に考えたもの。海外へはタイやベトナム、ミャンマーなど主にアジアを中心に旅しました。現地の言葉もあまり話せませんが、パフォーマンスとジェスチャーでコミュニケーションをはかり、現地の人もすぐに仲良くなれました」と笑顔で話します。「日本全国をヒットバイクで回る途中でも、たくさんの人と出会いがありました。福岡県でのストリートミュージシャンとの出会いから、バルーンアートも学ぶことができました」。

現在、吹上地域を拠点に大規模商業施設のイベントや祭りでのステージショー、営業活動をする池畑さん。「県内でも数少ないパフォーマンス。これからも市内外のような場所でもパフォーマンスを披露して、たくさんの人に名前を覚えてもらいたいですね。これまでの、そしてこれからの出会いを大切に、頑張りたいと思っています」



華麗な技で魅了 吹上出身のパフォーマー

いけ はた しゅうじ 池畑 周児さん[24歳]

吹上町中原(西本町自治会)
●バルーンアート、ジャグリングパフォーマンス「船風喜」代表。「Performer」(はさみ)として活躍。



内 香緒里ちゃん(2歳7か月)
嘉菜子ちゃん(8か月)
父 嘉彦さん 母 千里さん (伊集院町郡)

■おかあさんから
好奇心旺盛でやんちゃな2人。歌が好きで、いつも仲良く歌っています。いつまでも仲良く、元気に育ってね。



しょうた 橋口 翔汰くん(3歳3か月)
父 聡さん 母 幸恵さん (伊集院町大田)

■おじいさんから
元気いっぱい、のびのび育ってほしいです。大きくなったら、大田太鼓踊りにも参加できるかな。

元気のあるお子さんの写真を募集しています。
市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況(お子さんへのコメント)
⑤広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課(住所は未定)まで送りください。

わんぱく直送便



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	52,514人(△2)
男	24,525人(6)
女	27,989人(△8)
世帯数	22,378(20)
11月1日現在()は前月比	

市の面積 253.06km²

今月の表紙



祭文奏上!

市街地を練り歩き、徳重神社に到着した伊集院町武者行列保存会。島津義弘公の武勇をしのび、大将の大迫広幸さんが厳かな雰囲気の中祭文を読み上げました。

(10/28 伊集院町武者行列保存会)

No.30 平成19年11月号

発行/日置市役所 総務企画部企画課

〒899-2592 日置市伊集院町郡一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111

FAX 099 (273) 3063

東市来支所

TEL 099 (274) 2111

日吉支所

TEL 099 (292) 2111

吹上支所

TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>



古紙回収率100%再生紙を使用しています

篤姫と日置 シリーズ④

西郷隆盛・島津久敬ゆかりの地 吹上

平成二十年にNHK大河ドラマ「天璋院篤姫」が放映されるのを機に、篤姫や明治維新に関わる日置市内の人物や文化財をシリーズで紹介していきます。

明治維新最大の功労者の一人である西郷隆盛は、明治維新から西南戦争までの間に、吹上地域に何回か訪れており、ゆかりの地がいくつか残っています。また、吹上地域には篤姫の兄弟にまつわる史跡もあります。西郷は篤姫と深く関わっています。

西郷と吹上温泉

西郷は温泉好きで各地の温泉を回っています。吹上温泉には明治三(一八七〇)年と明治七年に滞在しています。吹上温泉は、古くは伊作温泉の名で人々に親しまれた温泉地です。

明治七年の滞在は、意見の対立から新政府を辞めた翌年になります。このときは四十日以上も滞在しました。西郷は、吹上に滞在しているときは好きな狩りを楽しんでいました。西郷は地元の人々と親しく交わり、国の形勢

を論じ、村の基本財産として植林を勧めたと伝えられています。

明治十年、西郷は西南戦争で敗れ、城山で亡くなりました。吹上の人々は西郷を偲び、昭和二年に、吹上温泉を見下ろす丘に「西郷南洲翁来遊の碑」を建てました。文字は東郷平八郎の筆で、石碑の除幕式には息子の西郷菊次郎も参加しています。

篤姫とのかかわり

西郷隆盛は、鹿児島城下の下級武士の家に文政十(一八一七)年に生まれました。地方を回る役

職などを勤めていましたが、安政元(一八五四)年に薩摩藩主島津斉彬に抜擢され、江戸に行き、斉彬の側近として活動するようになります。篤姫が將軍家に興入れする際には準備係を勤め、奔走したようです。その後、一橋慶喜(後の十五代将軍)を將軍にするために、篤姫に密書を送り、大奥への工作を行なったとされています。

斉彬の死後、西郷は二度も島流しにされるなど不遇の時期を過ごしますが、小松帯刀や大久保利通などの尽力で薩摩藩の中樞に復帰します。慶応四(一八六八)年に西郷は官軍を率いて江戸を目指しました。江戸攻撃直前に、篤姫から攻撃中止の嘆願を受けました。二人の努力もあり、攻撃は回避され、江戸城は無血開城となりました。

篤姫の兄久敬

吹上地域永吉地区にある天昌寺跡に、篤姫の実兄島津久敬の墓があります。天昌寺は、島津氏の分家で永吉を領有していた永

島津久敬の墓



西郷南洲翁来遊の碑



由は伝えられていません。明治維新の後にも永吉で隠居生活を続けていたようです。篤姫と同じように波乱の生涯でした。

〈引用参考文献〉

『吹上町の文化財と神話・伝説』 吹上町

『永吉に眠る篤姫の兄久敬』 佐土原伸也

『天璋院篤姫』 寺尾美保